

2025年8月25日

各位

会社名 株式会社やまびこ
代表者名 代表取締役社長執行役員 久保 浩
(コード 6250 東証プライム)

iLabo 株式会社との水素エンジン分野における資本・業務提携契約に関するお知らせ

株式会社やまびこ（以下、当社）は、水素エンジンの研究・開発を手掛ける iLabo 株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役：太田修裕、以下「iLabo」）と、資本・業務提携契約を締結いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 資本業務提携の背景と目的

当社グループは、2025年12月期を最終年度とする「中期経営計画 2025」において、社会のGX（グリーントランスフォーメーション）を成長機会と捉え、新規事業の創出に積極的に取り組んでいます。

本提携では、iLabo の「水素化コンバージョン※」技術と、当社の製品開発力・営業ネットワークを組み合わせることで、水素技術を活用した製品の開発と社会実装を加速することを目的としています。

※水素化コンバージョン：既存のディーゼルエンジンを水素燃料で運転可能なエンジンに改造する技術

2. 共同開発実績

当社と iLabo は、2024年3月に共同開発した水素エンジン発電機の実証機を、フォーミュラ E Tokyo E-Prix（2024年3月30日開催）において初稼働させました。

実証機は、当社製 100kVA Shindaiwa 発電機をベースに、iLabo の「水素化コンバージョン」技術により水素エンジンを搭載したもので、会場内に展示した 10 台のフードトラックへ 7 時間にわたって安定した電力供給を実現しました。さらに、CO₂を排出しないクリーンな排気と、従来機と比較して大幅に低減された運転音は来場者から高く評価され、現在開催中の大阪・関西万博にも展示いたしました。

また、同機に改良を加えた水素エンジン発電機は阪神港コンテナターミナルにおける「荷役機械高度化実証事業」にも採用され、世界初となる水素エンジン（水素専焼）発電機換装によるタイヤ式門型クレーン（RTG）の現地実証を行った実績もあり、持続可能な次世代エネルギーの可能性を示すとともに、実証を通じた活用はさらに広がりを見せています。

3. 資本・業務提携契約の概要

当社は、iLabo による第三者割当増資を通じて、同社の普通株式を取得いたします。また、両社は以下の取り組みを共同で推進してまいります。

- ・水素エンジン発電機の実証・量産化に向けた共同研究開発
- ・ビジネスモデル構築に向けた検討
- ・水素化コンバージョン技術開発
- ・iLabo の協業先との事業展開の検討

4. 今後の展望

実証を通じ多くの反響をいただいたことを鑑み、当社は資本・業務提携契約の締結を通じて i Labo との関係を一層強化し、水素技術の実用化および普及に向けた取り組みを推進してまいります。

今後も、カーボンニュートラル社会の実現に貢献すべく、先進的な技術開発と持続可能な社会づくりに取り組んでまいります。

【i Labo 株式会社の概要】

(1)名称	i Labo 株式会社
(2)本店所在地	東京都中央区銀座 6-13-9 bizcube 8 階
(3)代表者の役職・氏名	代表取締役 太田 修裕
(4)事業内容	エンジン水素化コンバージョン事業 水素エンジン研究・開発事業 など
(5)ホームページ	https://h2ice.co.jp/

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社やまびこ 経営企画部

電話：0428-32-6111（代表）

Email：ir6250@yamabiko-corp.co.jp